

平成22年度大阪府連携セミナー

人間社会学部

授業公開

講座

(前期)



公立大学法人

大阪府立大学

【人間社会学部 授業公開講座(前期) 講義概要】

講座番号：1 「西洋思想の系譜2A」 中村 治 教授

【授業目標】リン・ホワイト・Jrの「現在の生態学的危機の歴史的根源」などを読むことにより、キリスト教と環境問題の間にどのような関係があると指摘されているのかを見たとうえで、その指摘が妥当かどうかを、「創世記」に関するアウグスティヌスやトマス・アクィナスの解釈、ニコル・オレーム、フランシス・ベーコン、デカルト、ホッブスなどの思想を検討することによって考察し、キリスト教と環境問題の関係について考える。【授業概要】1.リン・ホワイト・Jrの「現在の生態学的危機の歴史的根源」。2.リン・ホワイト・Jrの「現在の生態学的危機の歴史的根源」。3.リン・ホワイト・Jrの「現在の生態学的危機の歴史的根源」。4.聖書の「創世記」。アウグスティヌスの『告白』。5.アウグスティヌスの『告白』。6.トマス・アクィナスの『神学大全』。アリストテレスの『靈魂論』。7.ニコル・オレームの『質と運動の図形化』。8.フランシス・ベーコンの『ノウム・オルガナム』。9.デカルトの『方法序説』。10.J.ギャンペルの『中世の産業革命』。11.J.ギャンペルの『中世の産業革命』。12.キース・トマスの『人間と自然界』。13.キース・トマスの『人間と自然界』。14.都市と農村の循環の問題。15.水の問題。

【参考書】ジャン・ギャンペル著『中世の産業革命』、岩波書店。キース・トマス著『自然と人間』、みすず書房

講座番号：2 「医療福祉論」 山中 京子 准教授

病気にかかることは、人の身体だけでなく、その人の心理、周囲の人との関係、日々の生活、仕事や学校での社会生活、人生の目標や夢などにも広く影響を及ぼす。病気にかかることは実に多面的な経験である。本授業では、まず、病気にかかることの多面的な経験を病者(当事者)の視点から検討する。さらに、その検討を踏まえ、それらの経験に当惑し、混乱し、苦悩する人々に対する支援のあり方について議論する。ここでの支援とは、家族や友人などの周囲の人、多様な専門職、ボランティアなどの非専門的支援者などの多くの立場を含む。

講座番号：3 「アメリカ言語文化概論」 相田 洋明 准教授

17世紀から現在にいたるまでのアメリカ言語文化史を、具体的な作品テキストに基づきながら概説します。広義の文学を中心としつつも、度重なる激しい変動を経てきたアメリカ社会の動向、そして、そのような社会が生み出してきた文化全般をコンテクストに据えて考察を進めたいと考えています。扱う時期と作家は以下の通りです。

(1)植民地時代から独立革命期へ(John Smith, John Winthrop, Ann Bradstreet, Edward Taylor, Crèvecoeur, Benjamin Franklin) (2)1812戦争(第二次対英戦争)からアメリカン・ルネッサンスへ(Brockden Brown, Poe) (3)アメリカン・ルネッサンス(Emerson, Thoreau, Hawthorne, Melville, Whitman, Dickinson) (4)リアリズムから自然主義へ(Twain, James, Crane, Dreiser) (5)リアリズム・自然主義からモダニズムへ(Frost, Masters, Sandburg, Pound, Eliot, Anderson) (6)モダニズム(cummings, Stevens, Fitzgerald, Hemingway, Faulkner, O'Neill) (7)(社会的)リアリズム(Steinbeck, Arthur Miller, Mailer, Bellow, Salinger) (8)ビートからブラック・ユーモア、ニュー・フィクションへ(Ginsberg, Heller, Pynchon, Albee, Nabokov) (9)ニュー・リアリズム(Carver) (補)アフリカ系アメリカ人文学(Wright, Baldwin, Ellison, Walker)

講座番号：4 「神経生理学」 角田 茂 教授

生命が地球上に誕生し、単細胞生物、多細胞生物、そしてヒトへと進化していく過程で、細胞間における情報伝達を有機的に統合するため、驚異的に発達したのが神経系であります。本講義では、近年飛躍的に進歩した脳科学の知見をもとに、細胞レベルから固体レベルに至るまでの、神経系の働きについて講義します。特にヒトの脳に関しては、その解剖および記憶や睡眠などのメカニズムについて個々に解説します。

※後期についても開講予定ですが、前期に受講された方のみ申込み可能となります。

講座番号：5 「フランス文学の世界1」 村田 京子 教授

サブタイトル:近代資本主義社会の原点を探るゾラの『ボヌール・デ・ダム百貨店』。
今年の講座では、エミール・ゾラの『ボヌール・デ・ダム百貨店』(1882)を取り上げます。この小説は130年も前に書かれましたが、現在私たちが生きている資本主義社会の原点にあたる19世紀後半のパリを舞台にしたものです。デパートは私たちの誰もが一度は訪れたことがある場所で、食料品から服飾品、靴、カバン、家具、寝具、文房具など何でも置いてある場所でもあります。こうした店が誕生したのが19世紀後半のパリで、デパートの誕生は産業革命の成果であり、大衆消費文化の幕開けでもありました。大規模な広告、通信販売、バーゲンセールなど現在行われている販売戦略も、実は、デパートの誕生に伴って生み出されたものです。ゾラは当時台頭してきたデパート業界を丹念に取材し、それをもとに創作したのが『ボヌール・デ・ダム百貨店』です。現在、デパートの衰退が問題となっていますが、デパートの原点の19世紀に立ち戻り、ゾラの小説に見出せる近代性を探っていきたいと思います。また、フランス語の「ボヌール・デ・ダム」とは「御婦人たちの幸福」という意味で、女性客がターゲットになっています。ゾラの小説で女性客がどのように扱われているのか、それも見ていく予定です。なお、この講座は、フランス語の知識がなくても受講できますが、授業で取り上げるゾラの『ボヌール・デ・ダム百貨店』の翻訳(藤原書店、または論創社)を予め読んでおくとうっかりやすいと思います。資料などは、授業中に配布します。

講座番号：6 「応用日本語学1A」 西尾 純二 准教授

この講義では、まず「方言とは何か」を考えることから始めます。日本語の方言が、どのようにして生まれ現在に至るのか。方言をはじめとする、ことばの多様性をどのように捉えるべきなのか。多様性のあり方から、日本語の特徴はいかに説明されるのか。自分が使用していることばが、社会的にどう位置づけられるのか。こういった事柄に、言語学的な説明能力を身につけることを目指します。

講座番号：7 「比較社会学A」 秋庭 裕 教授

東北アジアの宗教伝統のなかで、日本宗教の「救い」の論理と構造を考察する。そして、21世紀における、その「可能性」について考察する。日本列島に生きる人びとの宗教的基層文化は、どのような特徴をもつのだろうか。そして、それはどのように変化してきたのだろうか。あるいは普遍的な要素とは何であろうか。21世紀初頭、国民国家のゆらぎ、世界経済の激動、いっこうに収束しない民族・地域紛争、環境問題の深刻化、そして、それらすべてを被うグローバル化の加速度を加えるような進展など、人類はこれまでに経験したことのない規模の大転換期を生きている。そういう時代を生きざるを得ない私たちにとって、縄文から新新(しんしん)宗教まで鳥瞰し、私たちの文化伝統の屋台骨をなす、宗教文化を見直して行く。それは、「21世紀、東アジアの片隅で生きる私たちは、理論的に、いかに幸福に、死ぬことができるのか」を問うことである。

講座番号：8 「日本文学特殊講義B」 村田 右富実 教授

天平万葉を読む。天平元年(729)八月五日、神亀は天平に改元される。この改元ははなやかな天平万葉の始まりを告げるものでもあった。本講義では、天平改元前後の歌々を読み解いてゆく。具体的には、長屋王挽歌(441)、膳部王挽歌(442)、憶良七夕歌(1520-22)、丈部龍麻呂挽歌(443-445)、笠金村の羈旅歌(1787-89)などが中心となろう。

講座番号：9 「公的扶助論A」 嵯峨 嘉子 講師

本講義は、社会保障制度の最後のセーフティ・ネットとよばれる生活保護制度について理解を深めることを目的としています。具体的には、以下の内容を予定しています。

・ 公的扶助の概念 ・ 公的扶助制度の歴史的展開(日本) ・ 生活保護制度の基本的な仕組み(目的、基本原理および保護の原則、保護の種類と内容、生活扶助基準額の算定方式、給付の仕組みと手続き、等) ・ 生活保護制度の課題。

※ 後期の受講については、講義内容の連続性から、前期に公的扶助論Aを受講していることが望ましい。

講座番号：10 「科学思想の系譜」 斎藤 憲 准教授

アルキメデスを取りあげます。アルキメデスは、古代世界最大の数学者の一人であると同時に卓越した技術者であり、ローマとの戦争ではさまざまな機械でローマ軍をさんざんに苦しめたことが知られています。今回は『方法』という著作を取りあげます。これはアルキメデスが、球の体積などの数学的成果を発見するときにこっそり使っていた方法の種明かしをした著作で、アルキメデスの天才的発想を見ることができます。この著作の内容を中心に、アルキメデスの生涯と時代背景も探っていきます。高度な数学やギリシャ語の知識は必要ありません。【教科書】林栄治・斎藤憲『天秤の魔術師アルキメデスの数学』(共立出版, 2009. 3465円)。【参考書】斎藤憲『よみがえる天才アルキメデス』(岩波書店, 2006. 岩波科学ライブラリー117. 1260円)。ウィリアム・ノエル、リヴィエル・ネッツ『解説!アルキメデス写本』(光文社, 2008. 2,205円)

講座番号：11 「現代文学思想A」 萩原 俊治 教授

ドストエフスキーは作家としてデビューした頃、革命運動にのめりこみ、子供のころ親から与えられた「お仕着せの信仰」を失いそうになる。その信仰を再び獲得し、回心し、真の信仰を獲得してゆくのは、彼のシベリア流刑とそれに続くペテルブルグ帰還後の時期である。本講義では、その時期に書かれたドストエフスキーの二作品、『死の家の記録』と『地下室の手記』を読みながら、彼の心がどのようにして砕かれ、彼の回心がどのようにして生じたのかということについて述べる。後期の講義との連続性を考慮し、回心直後の作品、『罪と罰』にも言及する。授業進行を円滑に進めるため、教科書は必ず下記のものをご購入すること(大学生協で販売します)。

【教科書】ドストエフスキー『死の家の記録』(工藤精一郎訳、新潮文庫)、ドストエフスキー『地下室の手記』(江川卓訳、新潮文庫)。【参考書】ドストエフスキー『罪と罰』

講座番号：12 「日本文学史A」 青木 賜鶴子 准教授

平安時代に成立した文学作品について、個々の作品固有の問題を明らかにしながら、その文学史的意義を考えます。物語文学を中心に、物語の本質、物語の出できはじめの祖、歌物語の方法、異伝の発生、長編物語の方法、等のテーマについて講義する予定です。学生には、講義で取り上げる作品について予め調査した小レポート(3~4回)を提出してもらっています。公開講座参加者の方は義務ではありませんが、一度はレポートに挑戦してみてください。聞くだけの講義よりも内容が深く理解できると思います。

講座番号：13 「日本近世文学B」 西田 正宏 准教授

近世に王朝の古典はどのように読まれたのか。『古今和歌集』や『伊勢物語』の近世の注釈書を読みながら、近世の人たちが、どのように古典を読んでいたのかを考えます。現代でも評価の高い、上方の学僧・契沖の注釈書を中心に、契沖はどのような注釈書を利用して、自らの学問を築き上げたのか、それは同時代の歌人たちの注釈書と比べて、どのように違うのか、また契沖の学芸は、どのように受け継がれてゆくのか、などを中心に考えます。

講座番号：14 「地域福祉論A」 小野 達也 准教授

地域福祉論Aの教育目標は、地域福祉の必要性や概念を理解させることです。そのために現代社会において地域福祉がなぜ重視されてきているかを歴史的背景ばかりでなく、社会福祉の理論に沿いながら考察します。また、地域福祉を追求するための枠組み、すなわち地域福祉の構成としては何が必要なのかを住民主体の視点に即して明らかにします。講義は次の柱で15回行います。1.現代社会の地域生活。2.地域福祉の必要性。3.地域福祉の構成要素。4.地域福祉の様々な考え方。5.これからの地域福祉のあり方。*社会福祉をはじめて学ぶ人にもわかるような、講義を心がけます。

【 授業公開講座（前期講座） 】

| 講座番号 | 曜日 | コマ | 講座名 | 講師 | 定員 | 開講日 |
|------|----|----|-------------|--------|----|-------|
| 1 | 月 | 2 | 西洋思想の系譜 2 A | 中村 治 | 10 | 4月12日 |
| 2 | 月 | 2 | 医療福祉論 | 山中 京子 | 5 | 4月12日 |
| 3 | 月 | 2 | アメリカ言語文化概論 | 相田 洋明 | 10 | 4月12日 |
| 4 | 月 | 3 | 神経生理学 | 角田 茂 | 5 | 4月12日 |
| 5 | 月 | 4 | フランス文学の世界 1 | 村田 京子 | 15 | 4月12日 |
| 6 | 火 | 3 | 応用日本語学 1 A | 西尾 純二 | 3 | 4月13日 |
| 7 | 火 | 4 | 比較社会学 A | 秋庭 裕 | 15 | 4月13日 |
| 8 | 火 | 4 | 日本文学特殊講義 B | 村田 右富実 | 10 | 4月13日 |
| 9 | 火 | 4 | 公的扶助論 A | 嵯峨 嘉子 | 5 | 4月13日 |
| 10 | 水 | 3 | 科学思想の系譜 | 斎藤 憲 | 15 | 4月14日 |
| 11 | 水 | 4 | 現代文学思想 A | 萩原 俊治 | 15 | 4月14日 |
| 12 | 水 | 4 | 日本文学史 A | 青木 賜鶴子 | 10 | 4月14日 |
| 13 | 木 | 4 | 日本近世文学 B | 西田 正宏 | 10 | 4月 8日 |
| 14 | 金 | 3 | 地域福祉論 A | 小野 達也 | 5 | 4月 9日 |

2コマ：10時40分～12時10分 3コマ：12時55分～14時25分
4コマ：14時35分～16時05分

※各講座の教室は事前説明会の時にお知らせします。

この授業公開講座は、生涯学習の一環として、大学の研究成果を広く地域社会に還元するとともに“アクティブシニアがあふれる大阪”の実現をめざして、本学と大阪府が連携実施するものです。本学の授業科目の一部（14講座）を府民の皆さまに公開し、受講者は学生とともに授業を受けていただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

- ◆ 開講期間… 平成22年4月8日(木)～平成22年8月2日(月) / 14講座・各15回(予定)
※事前説明会・講演：3月26日(金) 14:00～16:00
- ◆ 講座会場… 大阪府立大学 なかもずキャンパス 各教室 / 〒599-8531 堺市中区学園町1番1号
・南海高野線「白鷺」駅下車 徒歩15分
・地下鉄御堂筋線「なかもず」駅下車 5番出口 徒歩20分
・JR阪和線「三国ヶ丘」下車 北野田駅行バス15分「府立大学前」下車
※車・単車での来学はできません。
- ◆ 受講資格… 中高年・シニア層で大阪府内にお住まいの方、通勤・通学されている方を対象とします。
学習や生きがいづくり、地域活動への意欲があり、全期間を通じて受講できる方。
- ◆ 申込締切… 平成22年3月11日(木) 《必着》
- ◆ 申込方法… ①ご希望の講座名 ②氏名(ふりがな)・年齢 ③郵便番号・住所 ④電話番号をご記入の上、
「ハガキ」または「Eメール」で下記宛先までお申し込みください(※携帯メール不可)。
※申込者多数の場合は抽選で受講者を決定します。結果については、全員に通知します。
- ◆ 申 込 先… 〒599-8531 堺市中区学園町1番1号
大阪府立大学 エクステンション・センター「大阪府連携セミナー」係
E-mail: sinia1@ao.osakafu-u.ac.jp TEL: 072-254-9942
- ◆ 受 講 料… 1講座 3,000円
※受講料のお支払いは、開講前の事前説明会時にお支払いいただきます。
尚、一旦お支払いいただいた受講料は、返金いたしかねますのでご了承ください。
- ◆ 個人情報… お申込の際の個人情報は、本学公開講座等に関する事務連絡以外の使用は一切いたしません。
の取扱い

(大阪府アクティブシニアがあふれる大阪構想事業)